

令和3年度事業報告書 - あじさい園ホームヘルパーステーション -

テーマ：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

サブテーマ：安心して、その人らしく笑顔が続くように自立した生活に必要なサービスの提供

1. 一人ひとりの生活を尊重し、生きがいのある自立した生活の継続支援

- ① 日々状態が変化する中、支援時にはご利用者、家族の言葉を傾聴し、どのような支援が今必要なのかケアマネージャーと密に相談を行い自立に向け、一人一人に寄り添ったケアに繋げることができた。
- ② 日々の関わりを深め、趣味や得意分野から今出来ることに着目し、その人の本来の出来る力や意欲を引き出すサービスができた。
- ③ 気づきを持ち、心身の異常の早期発見や不安や心配事などの相談などの対応、可能な限り在宅生活が維持できるよう努めた。

2. 家族・地域・多職種との密な連携を図り、安心・安全な暮らしの支援

- ① 自然災害の情報を整理し、ハザードマップ・緊急連絡先一覧表を作成し、ご利用者や家族に周知を行い災害時の意識づけを図った。
- ② 施設内で新型コロナウイルス感染症が発生、デイサービスが感染防止のため休園したため、デイを利用できないご利用者の訪問件数が増えた。訪問先のご利用者、家族に状況説明を行い、理解を頂き、より一層、感染予防対策の徹底に努め、サービスを継続できるよう努めた。
- ③ 虐待へ繋がらないよう、ご家族とも関わりを持ち、相談やアドバイスなど介護負担の軽減に努めた。
- ④ 多職種との情報共有、アセスメント・モニタリングにて出来る限り残存機能を活かせるよう、訪問計画の検討・見直しを図り、自立に向けたサービスの提供を図った。
- ⑤ 介護タクシー事業は、受診・散髪など急な依頼も可能な限り対応し、多様なニーズに努めることができた。

3. 明るく魅力ある職場作り

- ① 出来る限り内部研修、web による外部研修に参加し、専門職のスキルアップを図った。
- ② 職員同士のコミュニケーションを心掛け、負担のかからない支援方法の工夫、有休を取りやすい勤務日程をたてることで、健康管理や心のゆとり、相談しやすい環境作りに努めた。